

写

新技術研究成果証明書

研究名称：津波シミュレーションモデル利活用に関する共同研究

(成果証明書番号 第24005号)

研究成果品：「津波シミュレーションモデル利活用マニュアル」 2013年3月

研究者：オリジナル設計株式会社

(研究の目的)

本研究は、耐津波対策を効果的に行なうために津波シミュレーションモデルを利活用する際の基本的な考え方や留意事項を取りまとめると共に、津波シミュレーションの利活用方法について示すことを目的とする。

(研究の内容)

本研究の主要な検討項目は、以下のとおりである。

- (1) 津波シミュレーションモデルの選定
- (2) 津波シミュレーションの再現性等の検討
- (3) 被害想定手法および耐津波対策効果確認手法の検討
- (4) 技術マニュアルの作成

(研究の期間)

2012年7月から2013年3月まで

(研究の成果)

本研究の成果である技術マニュアルを活用することにより、波力や漂流物等を含めた詳細な津波被害想定や対策効果の確認などの防災対策に加え、下水道BCPを始めとする減災対策への応用等、総合的な津波対策への活用が可能であることを確認した。

(共同研究者)

本研究は、財団法人下水道新技術推進機構ならびに下記5社による共同研究である。

オリジナル設計株式会社 株式会社東京設計事務所 株式会社日水コン
日本上下水道設計株式会社 日本水工設計株式会社

財団法人下水道新技術推進機構に設置された津波シミュレーションモデル利活用検討委員会において厳格なる審議を行った結果、本研究は上記の研究成果を確認できたことを証明する。

2013年3月31日

財団法人 下水道新技術推進機構

理事長

石川 忠男

